

SMBC日興証券京都支店個人投資家向けWeb説明会ご参加のみなさまへ

株式会社島津製作所のご紹介(東証プライム市場：証券コード7701)

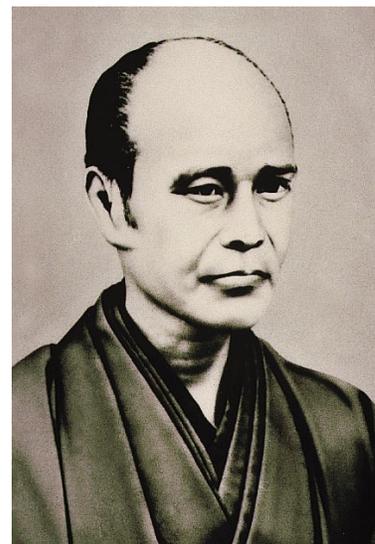
コーポレート・コミュニケーション部IRグループ | 2022年12月16日

01 会社概要

会社概要

社 是 : 科学技術で社会に貢献する
経営理念 : 「人と地球の健康」への願いを実現する
島津グループサステナビリティ憲章 : 地球・社会・人との調和を図りながら、“事業を通じた社会課題の解決”と“社会の一員としての責任ある活動”の両輪で企業活動を行い、明るい未来を創造します

社名・所在地 株式会社 島津製作所
 京都市中京区西ノ京桑原町1
創 業 1875年（明治8年）3月
資 本 金 266億円
売 上 高 4,282億円
従 業 員 単独3,491名 連結13,499名
連結子会社数 国内23社 海外53社（2022年3月31日現在）



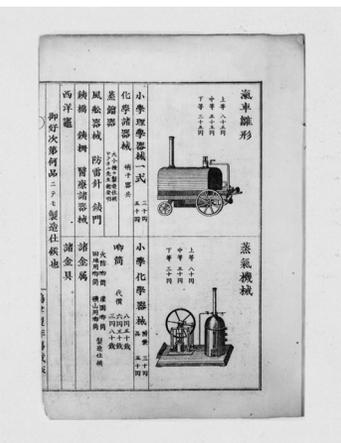
初代島津源蔵
(1839-1894)



本社・三条工場（京都市）

歴史 事業の変遷

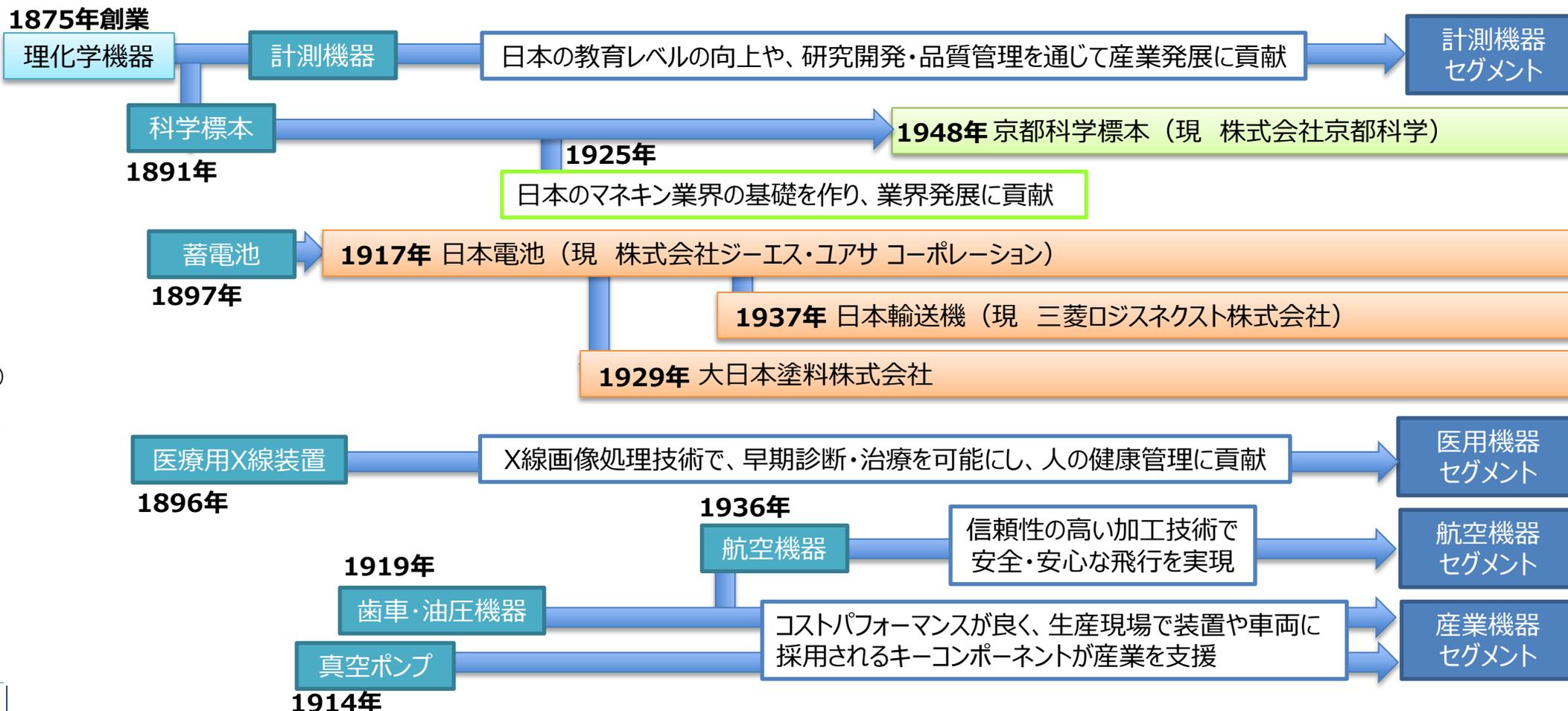
二代島津源蔵は、社会が求める様々なものを形にした。その後変遷を経て、現在の四つの事業セグメント体制へ



理化学器械目録表
(島津製作所最古の製品カタログ)



二代 源蔵
(1869-1951)



※(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション、三菱ロジスネクスト(株)、大日本塗料(株)、(株)京都科学はグループ会社ではございません

日本初、世界初を生み出す源 ~島津の強み①~

「失敗を避けない」挑戦し続ける文化

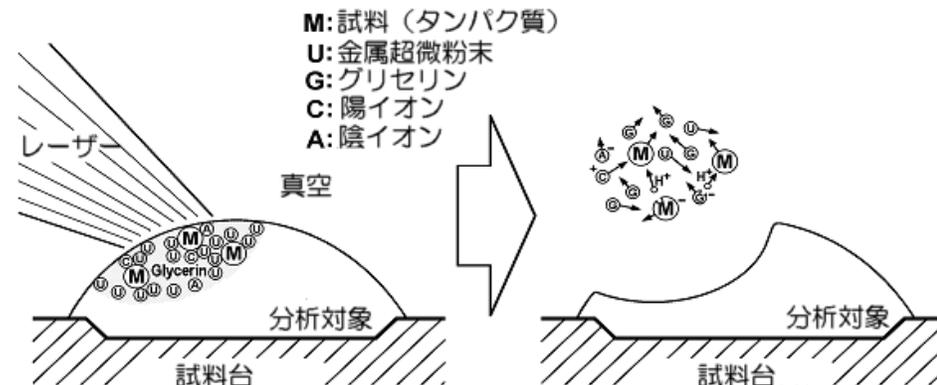
贅沢過ぎた電気扇風機



当時の最高技術を詰め込んだが、高級すぎて普及せず・・・

偉大なる失敗

- ・試料にグリセリンを誤って混ぜてしまった（失敗）
- ・もったいないので使ったら上手くいった



ソフトレーザー脱離イオン化法

悩み続けた12年間



海外大手企業は絶対無理！と論文発表。しかし12年間かけ、世界初の直接変換式FPD搭載X線画像診断装置を開発

たんぱく質を世界で初めてイオン化することに成功

2002年田中耕一がノーベル化学賞を受賞

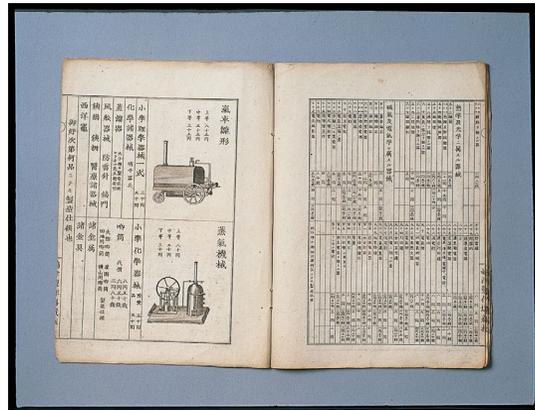
日本初、世界初を生み出す源 ~島津の強み②~

時代の潮流を読み取る力

明治初期創業時

戦後の高度経済成長期

平成から令和へ・withコロナ



理化学器械目録

仏具製造から理化学器械メーカーへの転身



ガスクロマトグラフ

石油化学産業を支えた国産初ガスクロマトグラフの開発



新型コロナウイルス検出試薬キット

感染拡大防止のため、PCR試薬と検査装置を開発



全自動PCR検査装置

グローバル事業展開

25か国に拠点を設け、地域毎に異なるニーズに応える（2021年度の海外売上高比率は53%）

- アプリケーション開発
- 研究・開発
- 主要販売会社
- 製造
- 販売・サービス
- ★ イノベーションセンター



Kratos Analytical Ltd.
英国分析機器製造工場



連結子会社 海外53社 国内23社 2022年3月31日現在

研究開発体制

- 研究開発から製品・アプリケーション開発まで一貫した体制を構築
- イノベーションセンターを設置し、研究機関・企業・大学との連携を強化

アプリケーション 技術開発



東京イノベーションプラザ
(2023年1月開所予定)



イノベーションセンター

アプリケーション
開発センター

ニーズ

特許保有件数
6,776件
(うち国内3,917件、
海外2,859件)

研究開発費
163億円
対売上高比率4.0%

製品・サービス
の提供

基盤技術研究



SHIMADZU みらい共創ラボ

製品・ サービス開発



ヘルスケアR&Dセンター

英国 
Kratos

中国 
開発センター

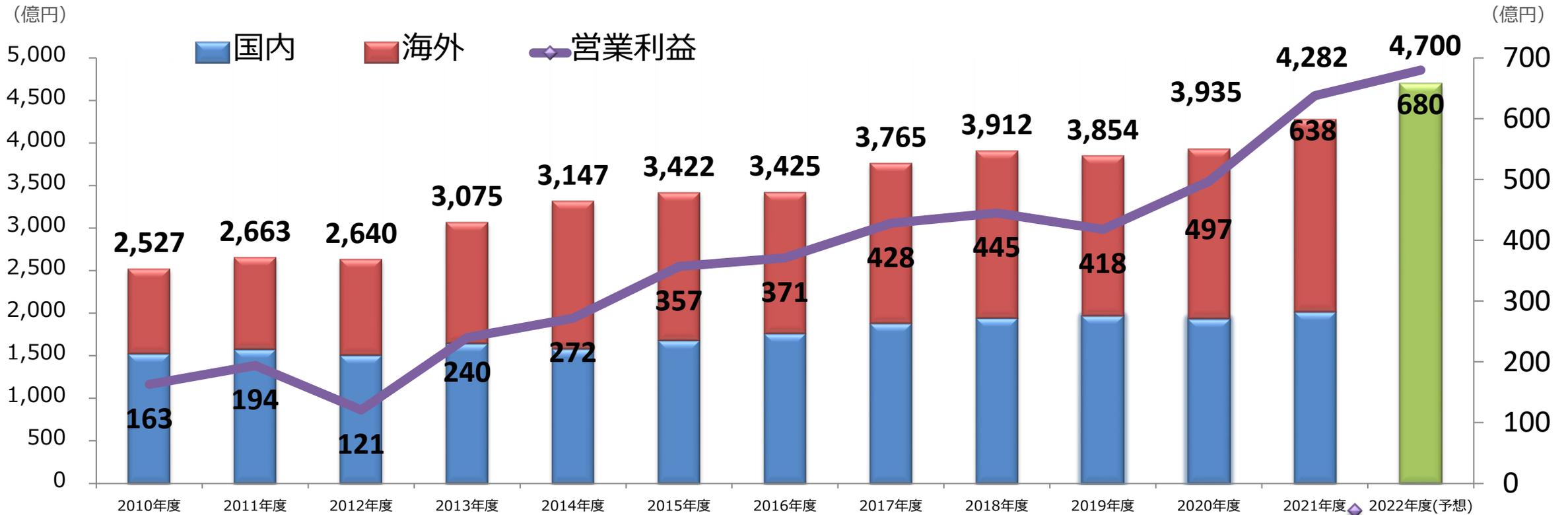

田中耕一記念
質量分析研究所

 
研究所

基礎研究

売上高・営業利益推移

- 10年間の年平均成長率は、売上高5%、営業利益12%
- 2022年度も3期連続過去最高の売上高、営業利益を目指す



02 事業概要

4つの事業セグメント

計測・医用・産業・航空の4つの事業を展開

航空機器

最先端の搭載機器を提供し、「安全・快適、負荷軽減」に貢献

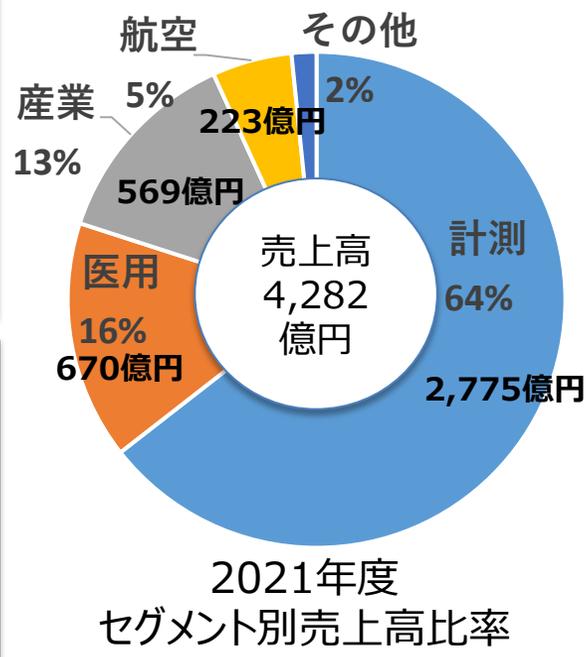
コントロールバルブモジュール
パワードライブユニットギヤボックス
フラップアクチュエータ
スタビライザトリムアクチュエータ
アングルギヤボックス

フライトコントロールシステム

産業機器

高性能なキーコンポーネントを提供し、最先端のものづくりの発展に貢献

ターボ分子ポンプ (真空ポンプ)
油圧ギヤポンプ



計測機器

分析計測機器を提供し、様々な分野で、研究や技術開発、品質管理に貢献

LCMS-8060NX
高速液体クロマトグラフ質量分析計

医用機器

X線画像診断装置を提供し、人の健康の維持・向上に貢献

血管撮影システム Trinias

計測機器事業①

- 見えないものをみる（見る・観る・診る）、測る
- 最先端の分析技術でヘルスケア、マテリアル、環境・エネルギーなど様々な分野での研究開発・品質管理に貢献

ヘルスケア

- 認知症・がん・生活習慣病などの早期診断等、人々の健康維持に貢献
- 新薬開発や生産性向上に貢献
- 残留農薬など、規制対応による食の安心・安全の確保に寄与
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に貢献



液体クロマトグラフ
質量分析システム



液体クロマトグラフ



ガスクロマトグラフ

全自動PCR
検査装置



新型コロナウイルス検出試薬キット



マテリアル

- 各種材料の強度試験や、非破壊での内部状態解析など、新素材開発に貢献

超音波光
探傷装置



精密万能
試験機

環境・エネルギー

- クリーンエネルギー技術開発に役立つシステム・アプリケーションを提供し、脱炭素化社会実現に貢献

オンライン全窒素・
全リン計



エネルギー分散型蛍光X線分析装置
EDX-LE

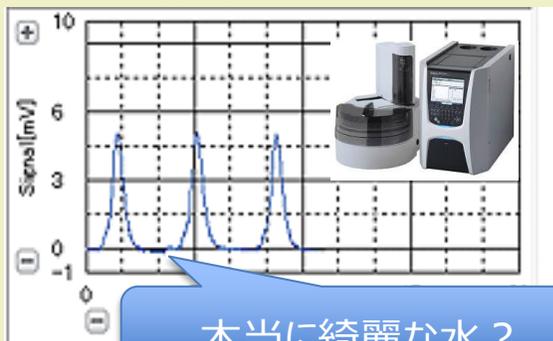
計測機器事業②

身近で活躍する島津製品



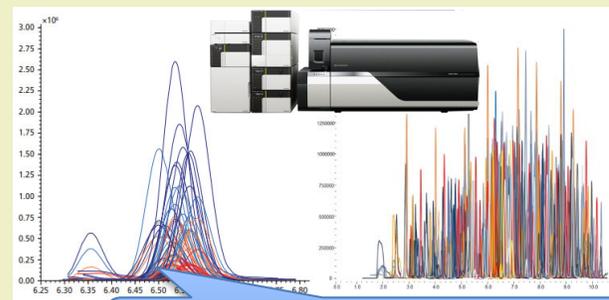
身近で活躍する島津製品

水



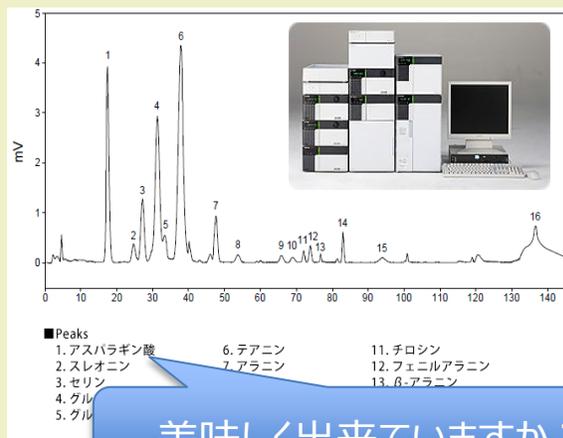
本当に綺麗な水？

茶葉



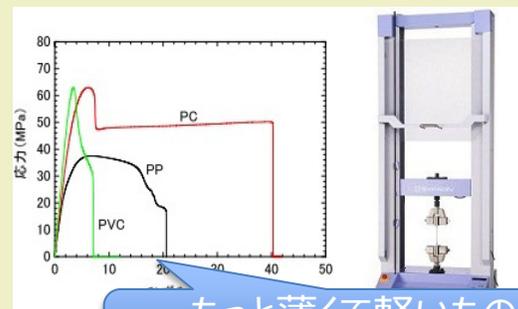
農薬が残ってませんか？

お茶



美味しく出来ていますか？

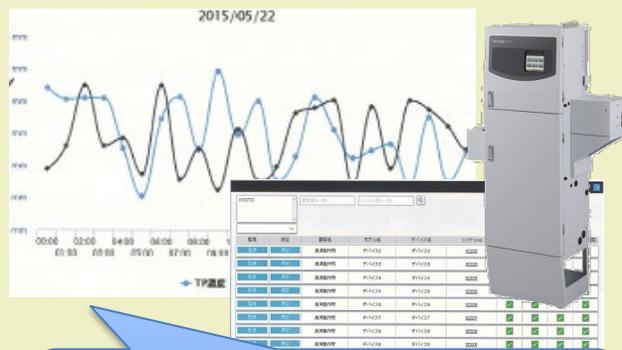
容器



もっと薄くて軽いものが
できませんか？

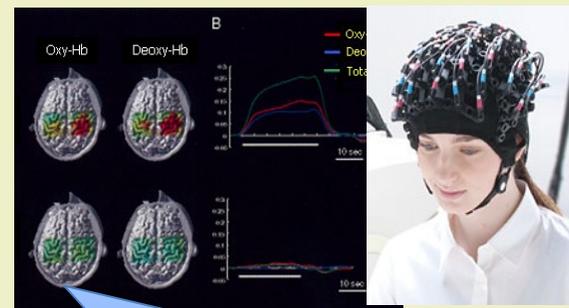
身近で活躍する島津製品

排水



お茶を作った後に出てくる排水は大丈夫？

飲用者



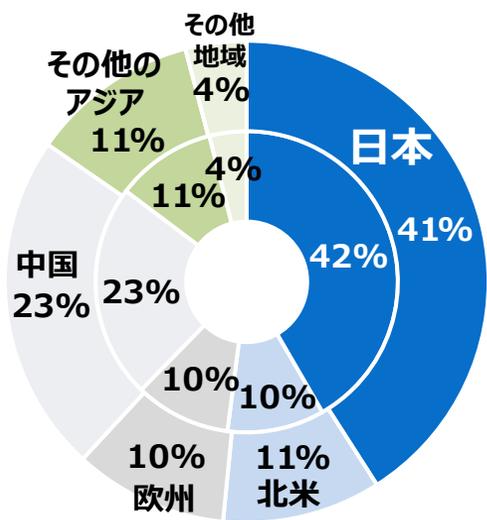
お茶を飲むと、健康に対してどんな効果があるの？

このように「**見えないもの**」を「**見えるようにする**」ことで、人の健康、安心・安全や産業の発展を支えています。

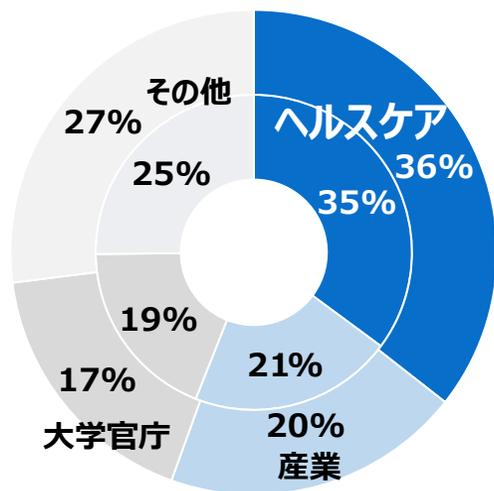
計測機器事業⑤

- 売上高、営業利益・営業利益率いずれも過去最高を更新（2021年度）
- 製薬・ライフサイエンスでの活発な投資を背景に液体クロマトグラフ・質量分析計等の重点機種と消耗品、サービス・メンテナンスなどの収益性の高いアフターマーケット事業を拡大

地域別売上比率



市場別売上比率



※円グラフ外側は2021年度実績、内側は2020年度実績を示す

業績推移



医用機器事業

- 最先端のイメージング技術で、患者負担が軽く使用しやすい医療システムを提供
- 感染症や脳/心疾患、がんなど様々な疾患の早期発見、早期治療に貢献

骨折や肺炎など全身のX線画像診断に使用



一般撮影システム

回診用X線撮影装置



心疾患・脳血管疾患のカテーテル治療支援



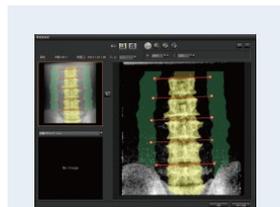
血管撮影システム



高齢化で増える内臓・骨疾患の画像診断に対応



X線TVシステム



骨密度計測

心の病の診断や脳卒中リハビリテーションで活躍

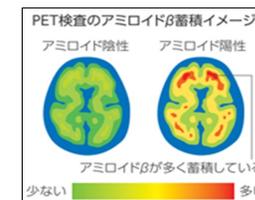


近赤外光イメージング装置

頭部・乳房に特化した世界発のTOF-PET装置



TOF-PET装置

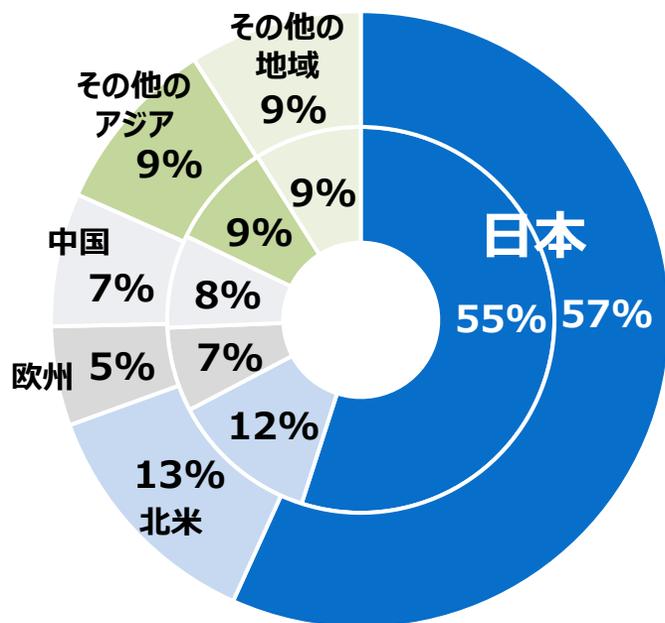


これ1台で頭部・乳房両方の検査ができるだけでなく、より正確ながん（頭部・乳房）や認知症の検査が可能

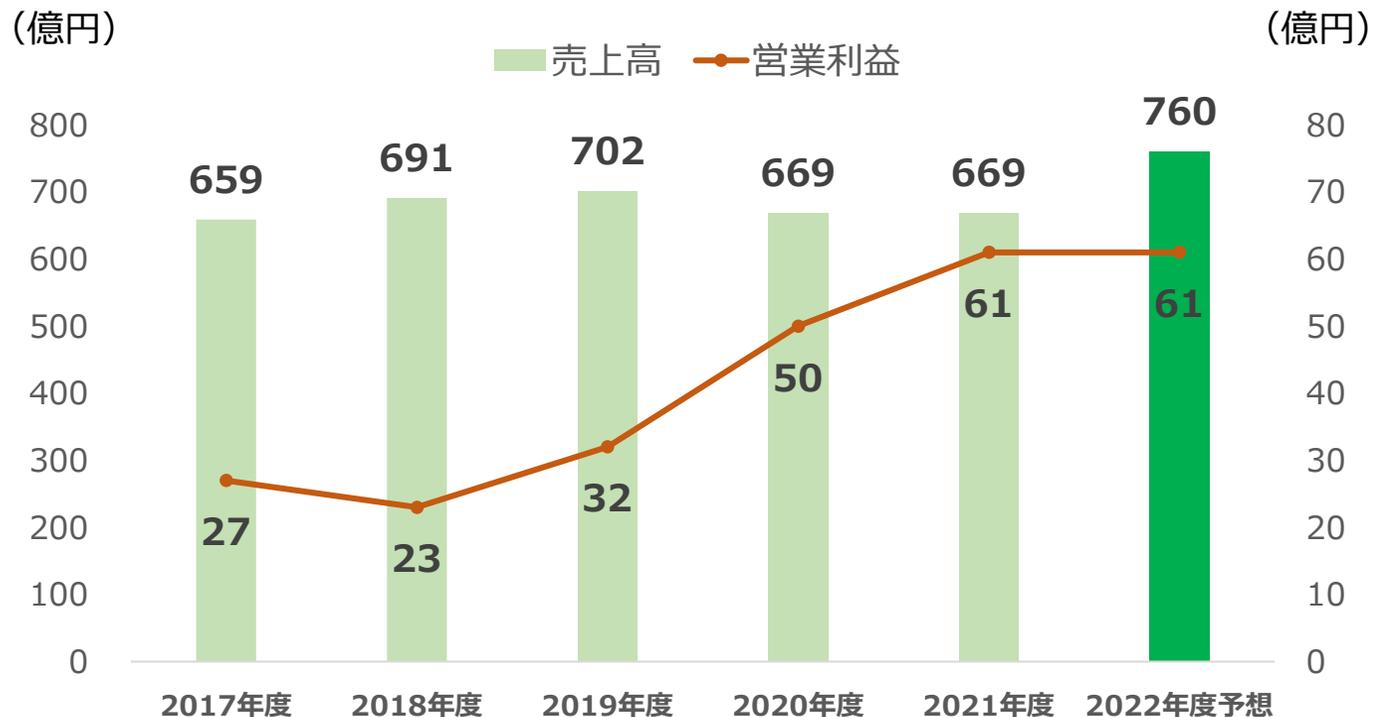
医用機器事業

- 営業利益は過去最高を更新（2021年度）
- 2022年度は画像処理やAI技術などソフトウェアのサブスクリプション事業を展開し、アフターマーケット事業を強化

地域別売上比率



業績推移



※円グラフ外側は2021年度実績、内側は2020年度実績を示す

産業機器事業

- 5G対応機器等の半導体需要や、フラットパネルディスプレイ向けが牽引し、ターボ分子ポンプが好調に推移
- 油圧機器がフォークリフト・建機などの市況回復により、日本・北米・中国で増加

半導体やディスプレイの製造に

真空環境を創りだす、高性能ポンプ
主に半導体製造装置に搭載



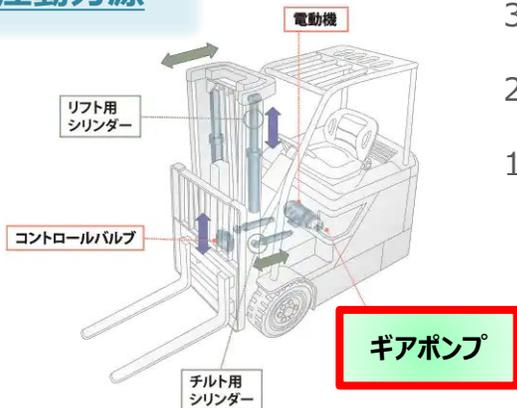
ターボ分子ポンプ

産業車両・建機・農機の油圧動力源

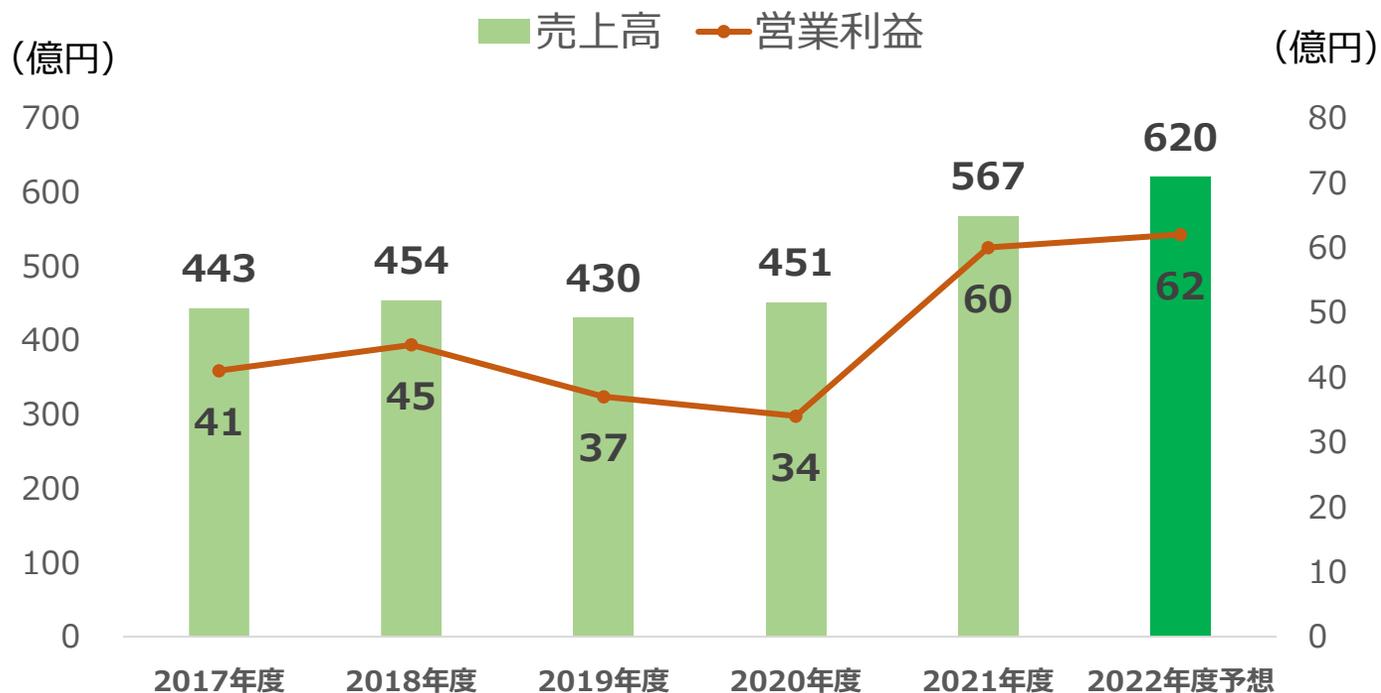
油圧ギアポンプの
低騒音・低振動を実現



油圧ギアポンプ



業績推移



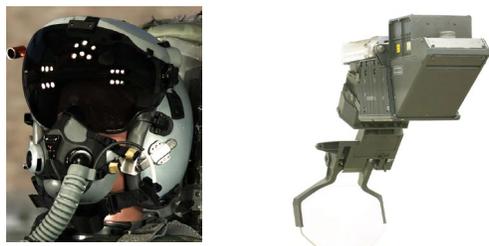
航空機器事業

防衛省向けと民間航空機市場向けに展開（防衛：民間＝8：2）

エアマネジメントシステム



ディスプレイシステム



パワー・ドライブ・ユニット・ギヤボックス



パワー・ドライブ・ユニット・ギヤボックス



コントロール・バルブ・モジュール

コントロール・バルブ・モジュール

スタビライザ・トリム・アクチュエータ



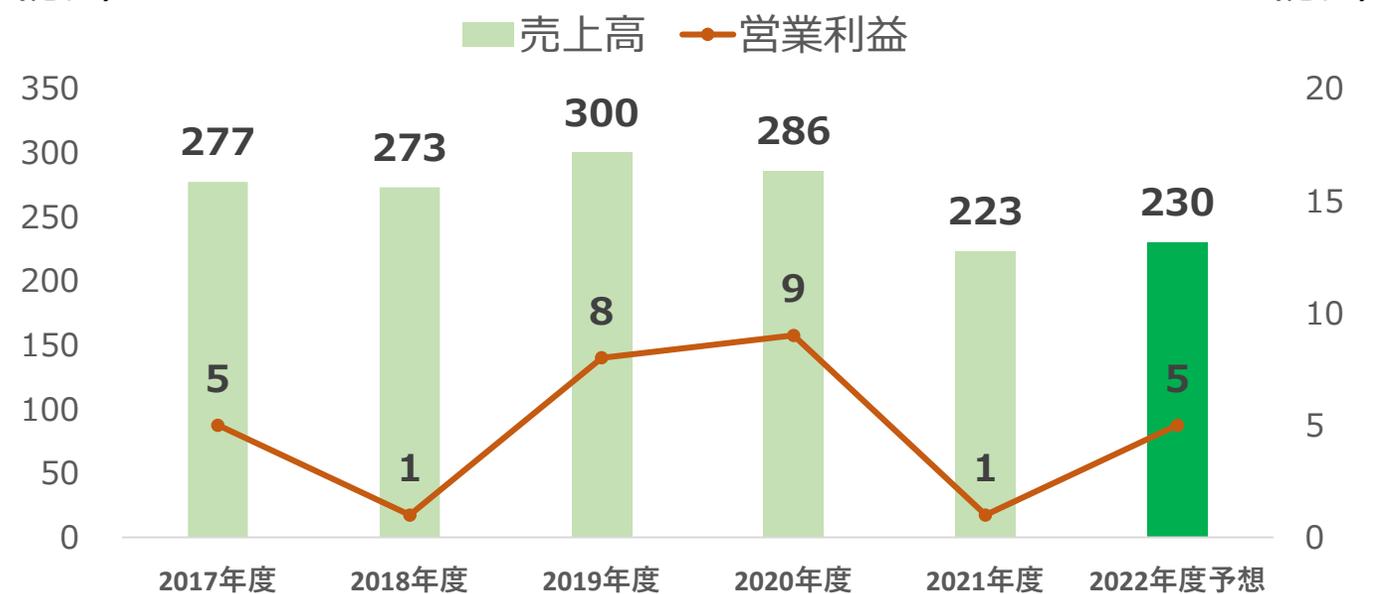
フラップ・アクチュエータ



アングル・ギヤボックス

業績推移

(億円)



(億円)

03 ESGの取り組み

ESGの取り組み

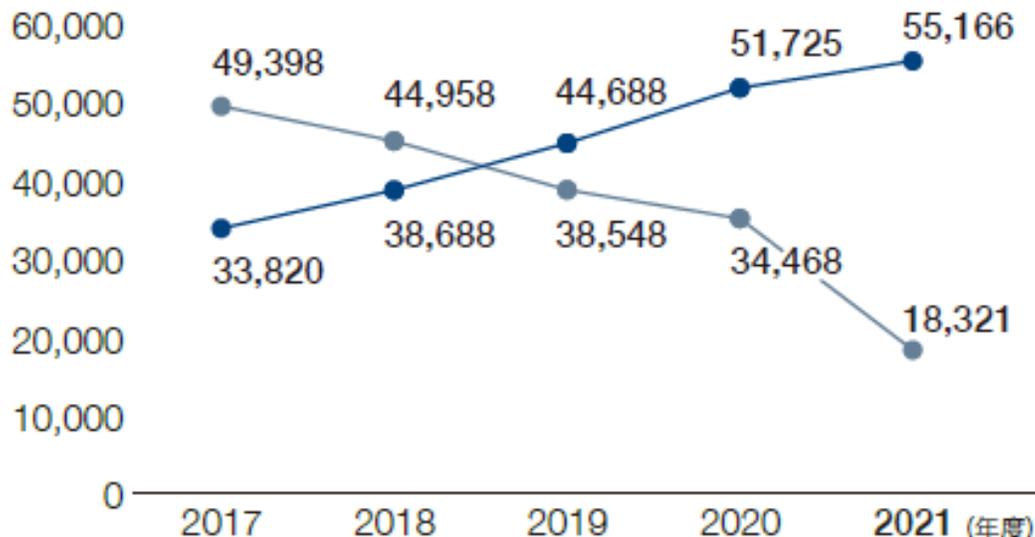
「すべての製品のエコ化」を推進

地球環境の保全に配慮した製品・サービスの開発・提供を推進



島津グループ(国内外)CO₂排出量とCO₂排出抑制貢献量

— CO₂ 排出抑制貢献量 — 島津グループCO₂ 排出量
(t-CO₂)



エコプロダクツPlus認定商品



高速液体クロマトグラフ
質量分析計LCMS-2050



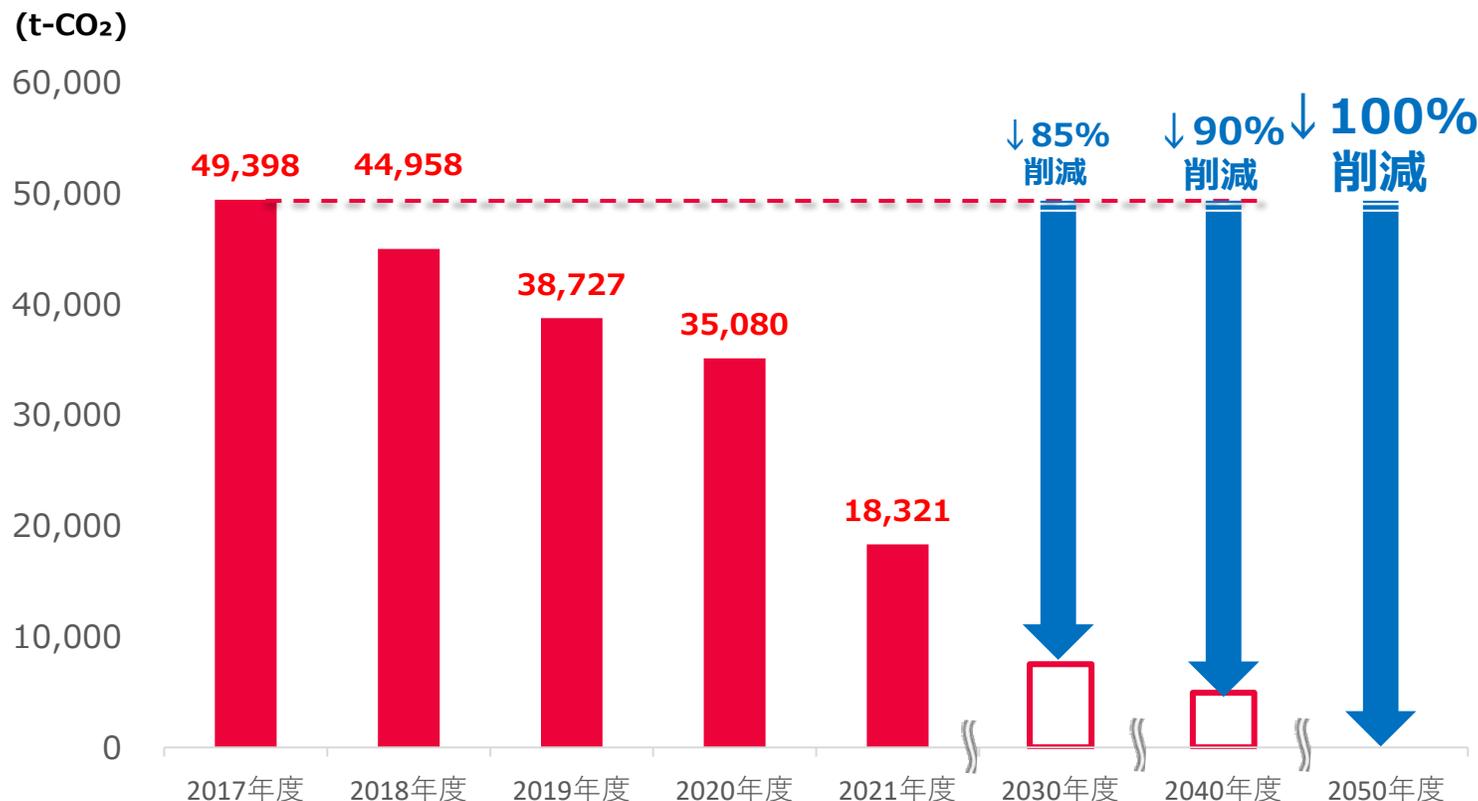
血管撮影システム
Trinias

優れた環境配慮認定製品エコプロダクツPlusを提供し、当社のCO₂排出量と、CO₂排出抑制貢献量とのトレードオフを実現

事業における環境負荷低減「CO2排出量の削減」

- 2022年3月に新たなCO2排出量削減目標を設定。2050年にCO2排出量実質ゼロとする(2017年度比)
- 中間目標として2030年度に85%以上、2040年度に90%以上削減

島津グループの事業活動によるCO2排出量



2019年5月：TCFD宣言への賛同



2021年3月：RE100を宣言

RE100

CLIMATE GROUP



2022年2月：

「サプライヤーエンゲージメントリーダー」に選定



2022年10月：SBT認定を取得



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

ESGの取り組み

カーボンニュートラル実現への取り組み

再生可能エネルギーや、自動車・蓄電池関連の技術開発・品質管理に貢献

水素発電関連

幅広い検査技術で安心・安全な設備保全とエネルギーの安定供給に役立っています



水素タンクの非破壊検査
超音波光探傷装置

燃料電池の触媒の評価
ポータブルガス分析計



バイオ燃料発電関連

バイオ燃料の開発・品質管理や燃焼効率向上など、再生可能エネルギーの安定供給を守っています。



バイオガスの成分分析
システムGC



木質燃料チップの含水率測定
電子式水分計



自動車・蓄電池関連

分析計測技術で環境に優しい次世代モビリティ社会の実現に貢献しています。



部品内部の構造観察
マイクロフォーカスX線CTシステム

電極材料の解析
リチウムイオン電池
正極材料向け
化学結合状態解析システム



洋上風力発電関連

複合材料用製造装置や検査装置で、安心・安全なエネルギーインフラの構築に貢献しています。



部品の強度検査
精密万能試験機

回転羽の強化用ガラス
繊維の製造
ガラスワインダ



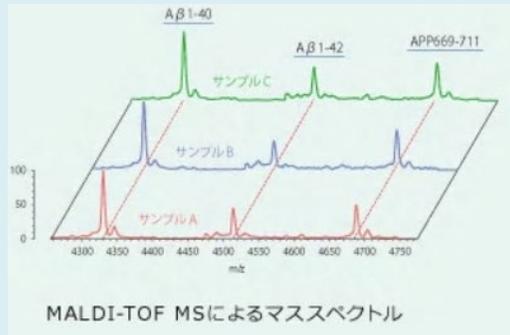
分析技術：質量分析計を用いて血液一滴からアルツハイマー病原因物質といわれるアミロイドβの分析手法を確立

アミロイドβの蓄積度合いを推定する分析方法



血中アミロイドペプチドシステム「Amyloid MS CL」

アミロイドβの
脳内異常蓄積と
相関性がある、
バイオマーカー
を発見



医用技術：頭部・乳房に特化した世界初のTOF-PET装置「BresTome」

- 近畿大学医学部と臨床研究を開始(2020/10/26～)
- モードを切り替えることで、1台で頭部と乳房の両方を検査することが可能
- より正確ながん（頭部、乳房）および認知症の検査が可能



頭部撮影モード



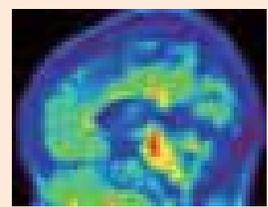
乳房撮影モード

BresTome画像

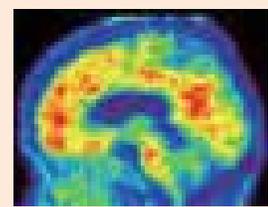


BresTomeによるアミロイドPET画像

陰性症例



陽性症例

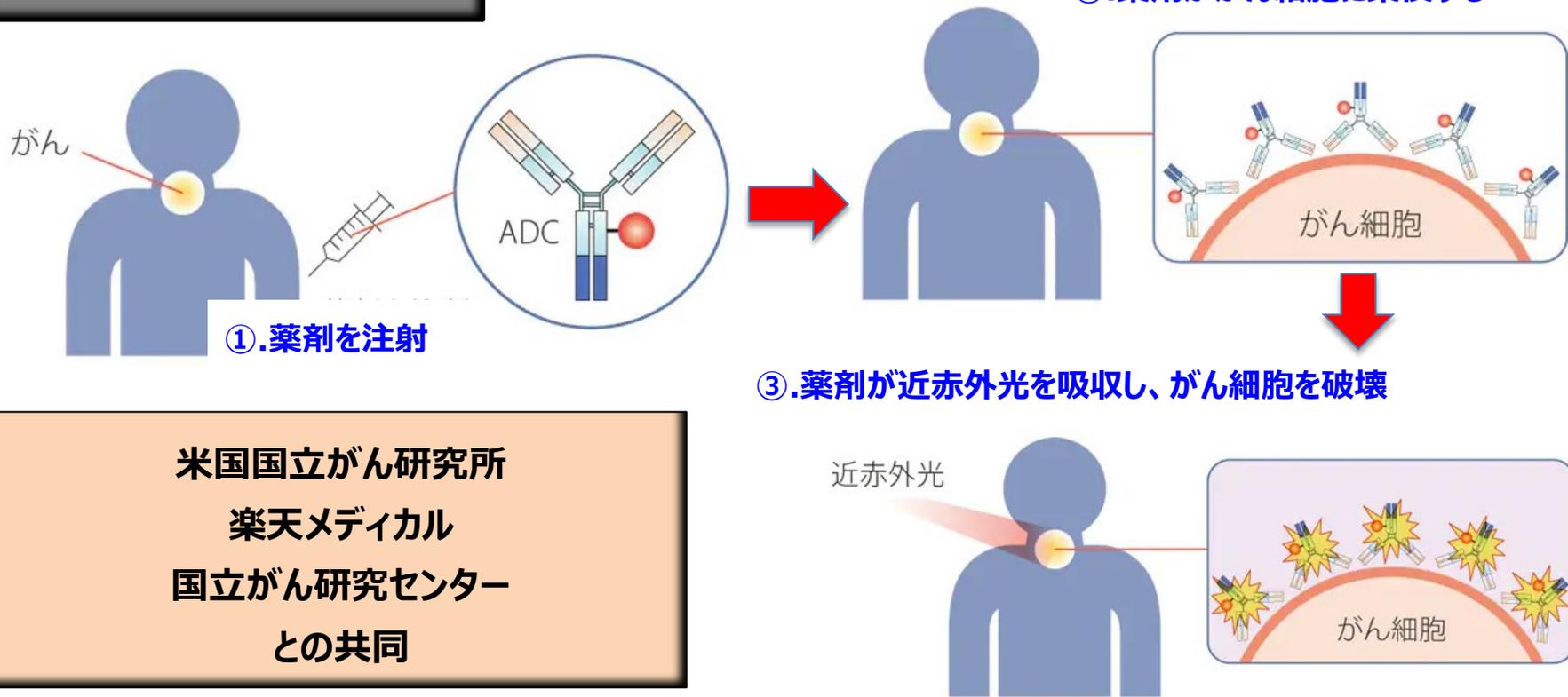


黄・赤の部分が多いほど、アルツハイマー病の原因物質と考えられているアミロイドβの蓄積が顕著

データ提供：近畿大学高度先端総合医療センターPET分子イメージング部様

- 薬剤が結合したがん細胞に、近赤外線を当てるとがん細胞が死滅
- 他のがん治療と比べて、患者への負担が少ない

がん光免疫療法の流れ



米国国立がん研究所
 楽天メディカル
 国立がん研究センター
 との共同

がん光免疫治療装置



ESGの取り組み ダイバーシティ

- ダイバーシティは科学技術を生み出す源泉
- なでしこ銘柄に6年連続、ダイバーシティ経営企業100選に選定

ダイバーシティ推進

なでしこ銘柄（東証、経済産業省）

「女性活躍推進」に優れた上場企業として
当社は6年連続で選定されました

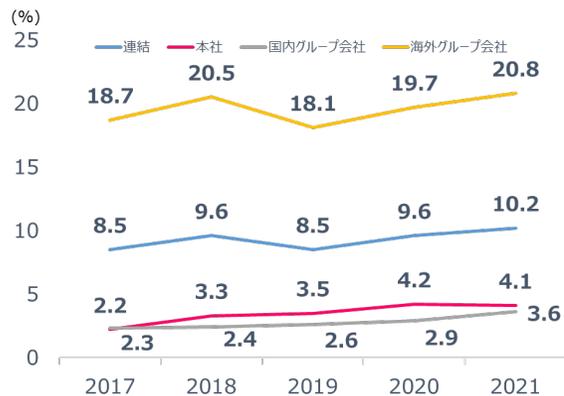


新・ダイバーシティ経営企業100選（経済産業省）

多様な人材の能力を生かし、中長期的に
企業価値向上を実現している企業24社を表彰



女性管理職比率



女性社員比率



ダイバーシティに関するKPI 2021年4月1日～2026年3月31日

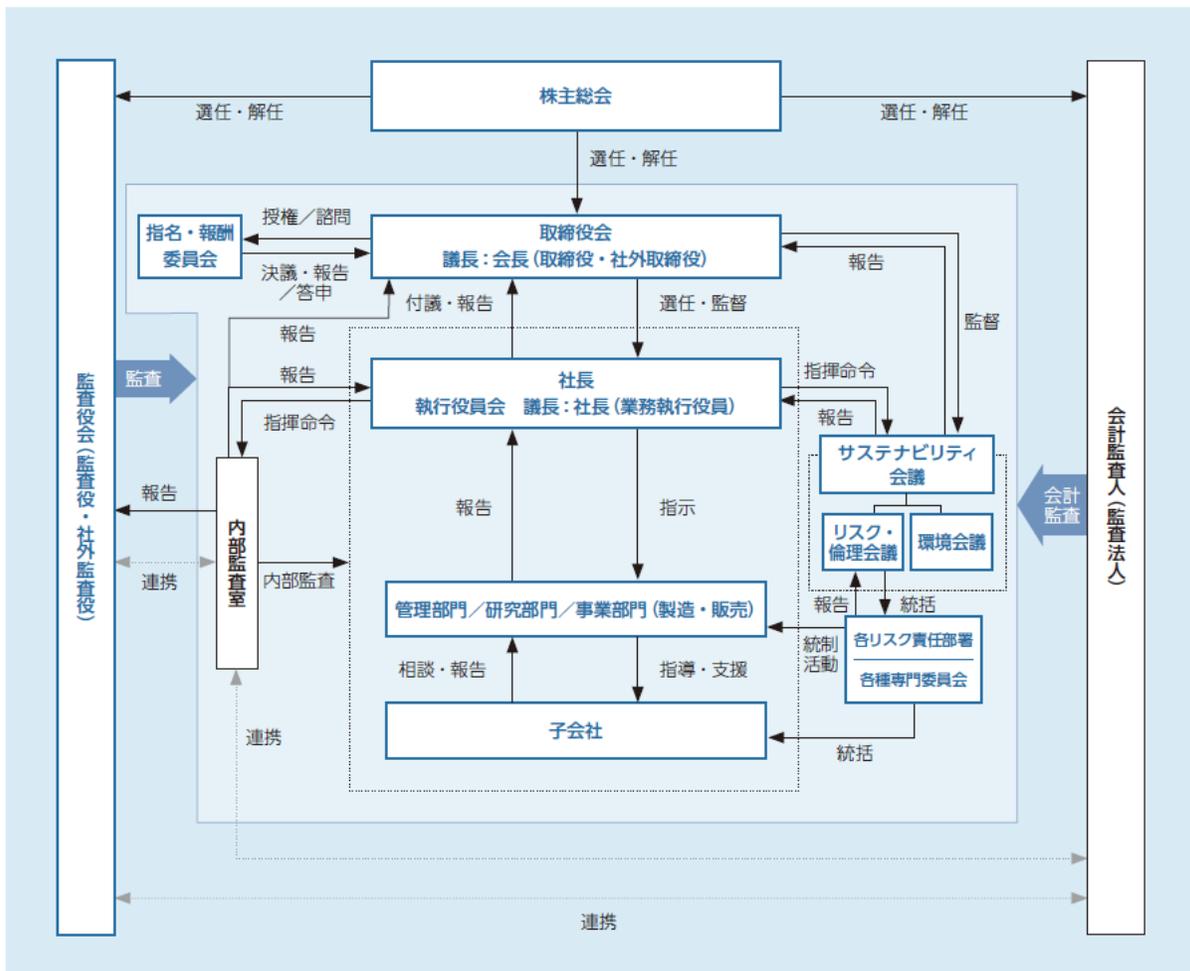
	目標値 (2025年度)	2021年度
女性管理職比率	6%以上	4.1%
女性正社員比率	30%以上	20.4%
男性育休取得比率	30%以上	20.8%

※上記数値は島津製作所単体の数値です。

コーポレートガバナンス

取締役会は多様性のある構成となっており、多角的な視点から議論し、適切な意思決定と監督を実現

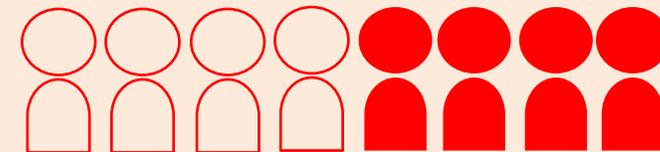
コーポレートガバナンス体制図



取締役会の構成

社内 社外

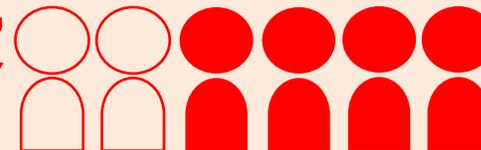
全取締役8名の1/2が
社外取締役



※社外取締役4名のうち、2名が女性取締役

指名・報酬委員会

委員長は社外取締役



委員の2/3が社外取締役

※委員6名中4名が社外取締役

スキルマトリックス

現時点での取締役にとって重要と考える知見・経験を適切に有している方を、役員候補者として指名します。なお、求められる知見・経験は、外部環境や会社の状況を踏まえ、適宜見直しを図ります

※スキルマトリックス紹介ページはこちら

https://www.shimadzu.co.jp/ir/governance/skill_matrix.html

04 株式情報

株価推移

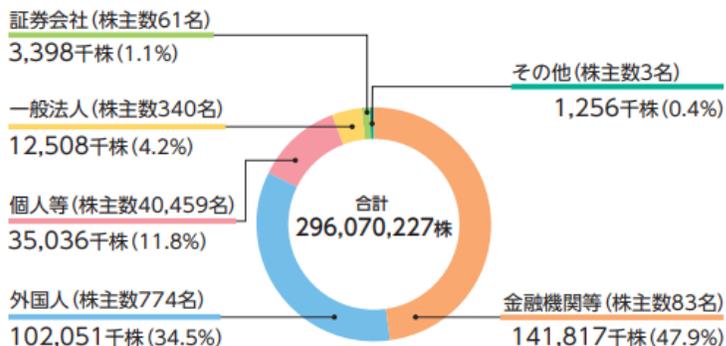
- 東証プライム市場
- 時価総額：1兆1,990億円（2022年12月12日時点）

株式の状況(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数：800,000,000株
 発行済株式総数：296,070,227株
 株主数：41,720名

所有者別株式分布状況

所有者別株式分布状況



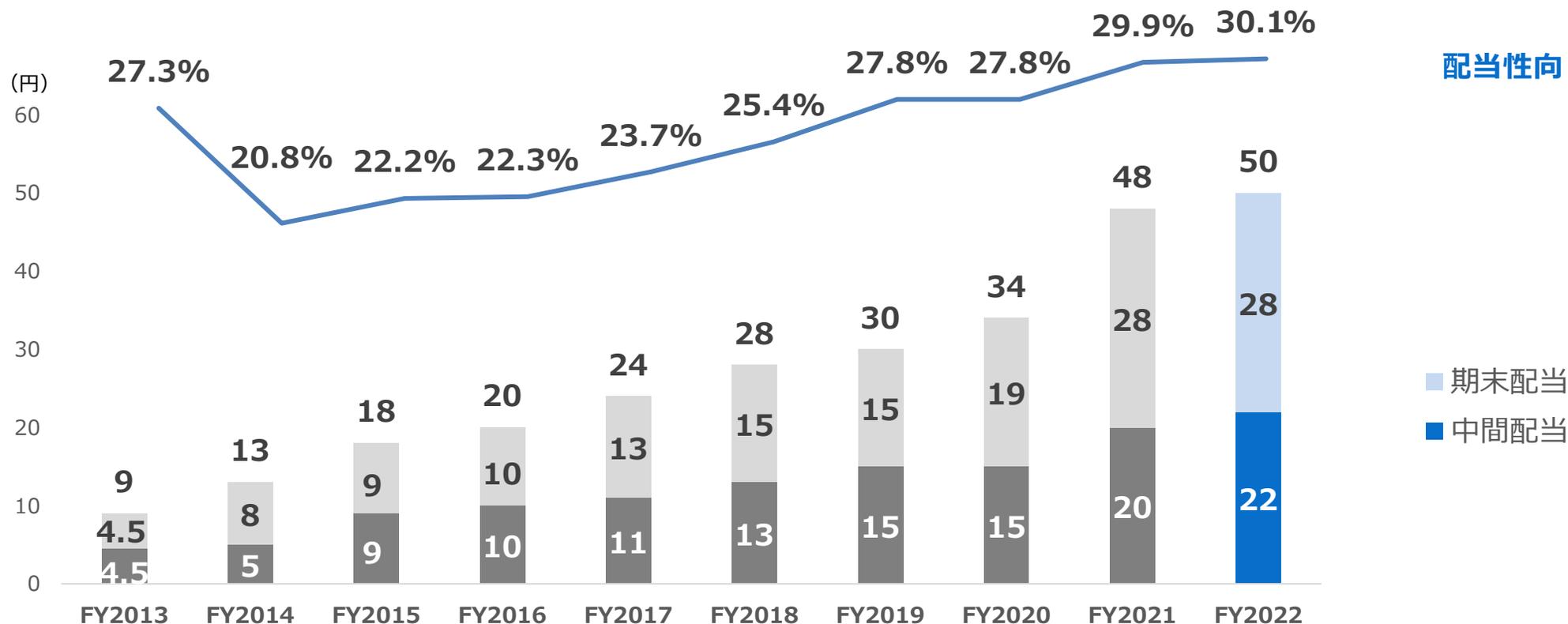
2022年初来

高値：4,925円（2022年1月4日）
 安値：3,685円（2022年3月15日）



株主還元

- 方針：研究開発など成長に向けた積極的投資とステークホルダーへの着実な還元を実施
- 配当：2021年度 中間20円、期末28円 年48円 予想より7円増配
2022年度 中間22円、期末28円 年50円 9期連続増配予定



● FY2022は予定

社外からの評価

- GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用するESG指数へ選定
- 環境に対する様々な取り組みや、ステークホルダーとの対話の姿勢が評価されました

GPIF採用のESGインデックスへの組み入れ

GPIFが採用している次の4つのESGインデックスに採用

- ・MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- ・MSCI 日本株女性活躍指数
- ・S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- ・FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

環境への取り組みに対する評価

CDPスコア：気候変動B 水セキュリティB

エコ・ファースト企業

先進的な環境保全の取り組みが評価され。精密機器業界で初めて、環境大臣より認定されました。

ハビタット（JHEP）評価認証

本社・三条工場内に「島津の森」（8,000㎡）を整備しています。公益財団法人日本生態協会のハビタット評価認証において、最高ランクのAAA評価を取得しています。



ステークホルダーとの対話姿勢に対する評価

2021年の日本IR協議会
「IR優良企業賞」を初受賞



健康経営に対する評価

健康経営銘柄

社員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する企業として選定



健康経営優良法人ホワイト500

優良な健康経営の施策を実施している法人として当社は5年連続認定



05 各種ご案内

各種ご案内

IRメール配信サービスへのご案内

当社の最新情報をスマホ、PCへメール配信しております。是非ご登録をお願いいたします。



IRメール配信サービス登録画面

<https://www.shimadzu.co.jp/ir/mail.html>

当社ウェブサイト投資家情報ページ

<https://www.shimadzu.co.jp/ir/index.html>

統合報告書2022のご案内

島津 統合報告書 2022

2022年3月期



当社ウェブサイト統合報告ページ

https://www.shimadzu.co.jp/ir/integrated_report/index.html

当社ウェブサイトサステナビリティページ

<https://www.shimadzu.co.jp/sustainability/index.html>



SHIMADZU

Excellence in Science

ブランドステートメント “Excellence in Science”

私たちSHIMADZUグループは、世界中のお客様がさまざまな新製品を開発するために、また環境の保全や改善のために、あるいは人々の健康や暮らしをよりよくするために、製品やサービスをご提供してまいりました。このブランドステートメントは、その誇りを胸に刻み、さらに優れた技術・製品・サービスをご提供できるよう、いっそうの技術の研鑽、知識の集積につとめ、「科学において卓越した存在」と認められるよう、社会と自らにコミットするものです。

お問い合わせ先：

(株)島津製作所 コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

06 参考資料

損益計算書

第2四半期(7-9月)業績が回復し、上期業績は過去最高を更新

売上高

前年同期比：+198億円/+10%

2,219億円

営業利益

前年同期比：+1億円/+0%

289億円

営業利益率

前年同期比：▲1.3pt

13.0%

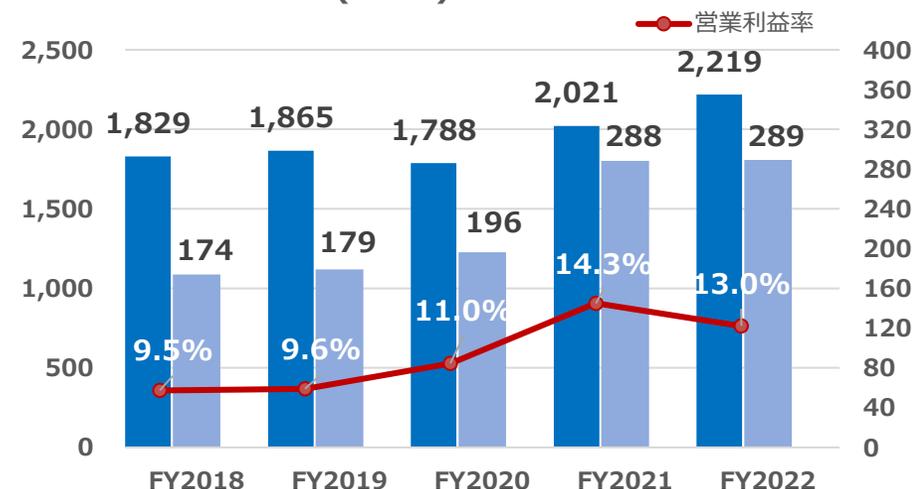
当期純利益

前年同期比：+40億円/+20%

245億円

	単位：億円	中間期(4月-9月)			前年同期比	
		FY2020	FY2021	FY2022	増減額	増減率
業績	売上高	1,788	2,021	2,219	+198	+10%
	営業利益	196	288	289	+1	+0%
	営業利益率	11.0%	14.3%	13.0%	▲1.3pt	
	経常利益	195	294	331	+38	+13%
	親会社株主に帰属する当期純利益	139	205	245	+40	+20%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	106.97	109.85	134.02	+24.17	+22%
	ユーロ(円)	121.33	130.93	138.78	+7.85	+6%
	研究開発費	71	75	87	+12	
	設備投資額	59	63	121	+58	

売上高・営業利益推移(5年間) 単位：億円



減価償却費

85億円

為替影響額

売上高：195億円 営業利益：51億円
棚卸未実現利益に対する為替影響がマイナスに作用

セグメント別損益(4-9月)

中国ロックダウンや部品・部材高騰影響を受ける中、第2四半期(7-9月)の業績回復により増益

計測機器：増収減益

売上高：+109億円/+8%
 営業利益：▲5億円/▲2%
 営業利益率：16.9%

- ・売上:部品部材不足の影響大、海外売上が為替影響を受け、増収
- ・営業利益:成長投資に加え、中国ロックダウンや部品価格高騰等の影響で減益

医用機器：増収増益

売上高：+56億円/+17%
 営業利益：+2億円/+7%
 営業利益率：7.6%

- ・売上: X線TV、血管撮影システムの新製品効果で増収
- ・営業利益：売上高増に伴う利益増から過去最高を更新

産業機器：増収減益

売上高：+36億円/+13%
 営業利益：▲1億円/▲4%
 営業利益率：8.5%

- ・売上：TMPが貢献し過去最高を更新
- ・営業利益：油圧機器が部品価格高騰、物流費高騰の影響を受け、全体で減益

航空機器：増収増益

売上高：+3億円/+3%
 営業利益：+7億円/ -
 営業利益率：3.1%

- ・売上：民間航空機器向け需要が回復
- ・営業利益：不採算製品の整理等で収益性を改善し、黒字へ転換

単位 億円	売上高						営業利益						営業利益率			
	FY2020 中間期	FY2021 中間期	FY2022 中間期	前年同期比			FY2020 中間期	FY2021 中間期	FY2022 中間期	前年同期比			FY2020 中間期	FY2021 中間期	FY2022 中間期	前年同期比 増減
				増減額	増減率	増減率 (除為替影響)				増減額	増減率	増減率 (除為替影響)				
計測機器	1,098	1,306	1,415	+109	+8%	▲2%	168	243	238	▲5	▲2%	▲15%	15.3%	18.6%	16.9%	▲1.7pt
医用機器	306	321	376	+56	+17%	+9%	14	27	29	+2	+7%	▲16%	4.6%	8.4%	7.6%	▲0.8pt
産業機器	205	268	304	+36	+13%	+5%	14	27	26	▲1	▲4%	▲56%	6.7%	10.1%	8.5%	▲1.6pt
航空機器	160	102	105	+3	+3%	▲5%	9	▲3	3	+7	-	-	5.4%	▲3.3%	3.1%	-
その他	19	24	19	▲5	▲21%	▲21%	2	3	3	▲1	▲16%	▲16%	6.5%	10.0%	9.4%	▲0.6pt
調整額	-	-	-	-	-	-	▲9	▲9	▲10	▲1	-	-	-	-	-	-
合計	1,788	2,021	2,219	+198	+10%	+0%	196	288	289	+1	+0%	▲18%	11.0%	14.3%	13.0%	▲1.3pt

セグメント別第2四半期損益(7-9月)

連結：部品・部材不足、価格高騰影響を受けつつも、売上高、営業利益ともに第1四半期から大きく改善

計測：中国ロックダウンからの回復等により第1四半期から大きく改善。第2四半期の営業利益率19.4%は過去最高

医用：売上高、営業利益ともに、第1四半期から改善。第2四半期の営業利益率12.4%は過去最高

産業：油圧機器が部材高騰などで減益となったが、好調なTMPがカバーし、営業利益横ばい

航空：防衛で前年大口案件の反動減で減収となったものの、採算性改善の取り組み等により増益

単位 億円	売上高					営業利益					営業利益率			
	FY2021	FY2022	増減額	増減率	増減率 (除為替)	FY2021	FY2022	増減額	増減率	増減率 (除為替)	FY2021	FY2022	増減額	
連結	1Q	943	986	+43	+5%	▲3%	124	94	▲30	▲24%	▲39%	13.2%	9.6%	▲3.6pt
	2Q	1,078	1,233	+155	+14%	+3%	164	195	+30	+19%	▲1%	15.2%	15.8%	+0.6pt
	中間期	2,021	2,219	+198	+10%	0%	288	289	+1	+0%	▲18%	14.3%	13.0%	▲1.3pt
計測機器	1Q	613	618	+5	+1%	▲8%	110	84	▲26	▲24%	▲34%	17.9%	13.5%	▲4.3pt
	2Q	693	797	+104	+15%	+3%	134	155	+21	+16%	+0%	19.3%	19.4%	+0.1pt
	中間期	1,306	1,415	+109	+8%	▲2%	243	238	▲5	▲2%	▲15%	18.6%	16.9%	▲1.7pt
医用機器	1Q	145	164	+19	+13%	+7%	9	2	▲6	▲72%	▲93%	6.1%	1.5%	▲4.6pt
	2Q	176	212	+36	+21%	+11%	18	26	+8	+45%	+22%	10.3%	12.4%	+2.1pt
	中間期	321	376	+55	+17%	+9%	27	29	+2	+7%	▲16%	8.4%	7.6%	▲0.8pt
産業機器	1Q	130	147	+17	+13%	+5%	14	13	▲1	▲5%	▲49%	10.6%	8.9%	▲1.7pt
	2Q	138	157	+19	+14%	+4%	13	13	▲0	▲3%	▲63%	9.7%	8.2%	▲1.5pt
	中間期	268	304	+36	+13%	+5%	27	26	▲1	▲4%	▲56%	10.1%	8.5%	▲1.6pt
航空機器	1Q	41	48	+6	+15%	+7%	▲4	1	+5	-	-	▲8.7%	2.4%	+11.1pt
	2Q	61	57	▲3	▲5%	▲14%	0	2	+2	+665%	+880%	0.4%	3.6%	+3.2pt
	中間期	102	105	+3	+3%	▲5%	▲3	3	+7	-	-	▲3.3%	3.1%	-

通期業績予想

売上高、営業利益ともに3期連続で過去最高の更新を目指す

売上高（上方修正+150億円）

前期比：+418億円/ +10%

4,700億円

営業利益

前期比：+42億円/ +7%

680億円

営業利益率

前期比：▲0.4pt

14.5%

	単位：億円	通期				前回予想比		前期比	
		FY2020	FY2021	FY2022 前回予想	FY2022 新予想	増減額	増減率	増減額	増減率
業績	売上高	3,935	4,282	4,550	4,700	+150	+3%	+418	+10%
	営業利益	497	638	680	680	+0	+0%	+42	+7%
	営業利益率	12.6%	14.9%	14.9%	14.5%	▲0.5pt		▲0.4pt	
	経常利益	484	656	680	680	+0	+0%	+24	+4%
	親会社株主に帰属する当期純利益	361	473	490	490	+0	+0%	+17	+4%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	106.11	112.43	115.00	130.00	+15.00	+13%	+17.57	+16%
	ユーロ(円)	123.75	130.60	130.00	135.00	+5.00	+4%	+4.40	+3%
	研究開発費	157	163	190	190	+0		+27	
	設備投資額	145	164	240	240	+0		+76	

売上高・営業利益推移(5年間) 単位：億円 ■売上高 ■営業利益



減価償却費

170億円

為替感応度

米ドル
売上高：12億円
営業利益：4億円

ユーロ
2億円
0.7億円

配当金

中間配当22円（前年20円）年間50円（前年48円）予想から変更なし
配当性向は30.1%

通期セグメント別業績予想

全セグメント増収増益を目指す

計測機器：増収増益

売上高 : +10%
営業利益 : +8%
営業利益率 : ▲0.4pt

医用機器：増収増益

売上高 : +14%
営業利益 : +0%
営業利益率 : ▲1.1pt

産業機器：増収増益

売上高 : +9%
営業利益 : +4%
営業利益率 : ▲0.5pt

航空機器：増収増益

売上高 : +3%
営業利益 : 4.2倍
営業利益率 : +1.6pt

- ヘルスケア分野の需要を取り込む
- 新製品を拡販(Nexera XS Inert、LCMS-2050等)
- GX関連事業を強化

- 日本、北米、その他アジアを中心に血管撮影システム、X線TVの新製品を拡販
- ソフトウェアのサブスクリプション事業を強化

- 半導体製造装置新規アカウント向けTMPを拡販
- 新規に中国TMPサービスセンターを開設しアフターマーケット事業を強化
- TMP・油圧機器の生産体制強化

- 民間航空機向け需要が回復
- アフターマーケット需要を取り込み、採算性改善を図り黒字確保

単位: 億円	売上高						営業利益						営業利益率			
	FY2021	FY2022 前回予想	FY2022 新予想	前回予想比 増減額	前期比		FY2021	FY2022 前回予想	FY2022 新予想	前回予想比 増減額	前期比		FY2021	FY2022 前回予想	FY2022 新予想	前期比 増減
					増減額	増減率					増減額	増減率				
計測機器	2,775	2,920	3,050	+130	+275	+10%	530	565	570	+5	+40	+8%	19.1%	19.3%	18.7%	▲0.4pt
医用機器	669	730	760	+30	+91	+14%	61	57	61	+4	+0	+0%	9.1%	7.8%	8.0%	▲1.1pt
産業機器	567	630	620	▲10	+53	+9%	60	72	62	▲10	+2	+4%	10.5%	11.4%	10.0%	▲0.5pt
航空機器	223	225	230	+5	+7	+3%	1	1	5	+4	+4	+324%	0.5%	0.5%	2.2%	+1.6pt
その他	47	45	40	▲5	▲7	▲15%	13	14	10	▲4	▲3	▲20%	18.1%	21.2%	16.7%	▲1.4pt
調整額	-	-	-	-	-	-	▲26	▲29	▲28	+1	▲2	-	-	-	-	-
合計	4,282	4,550	4,700	+150	+418	+10%	638	680	680	+0	+42	+7%	14.9%	14.9%	14.5%	▲0.4pt

主要な経営指標等①

	<u>2019年度</u>	<u>2020年度</u>	<u>2021年度</u>	<u>2022年度(予想)</u> (中期経営計画最終年度)
売上高	3,854億円	3,935億円	4,282億円	4,700億円
営業利益	418億円	497億円	638億円	680億円
営業利益率	10.9%	12.6%	14.9%	14.5%
当期純利益	318億円	361億円	473億円	490億円
EPS	107.84円	122.52円	160.49円	-
ROE	10.8%	11.3%	13.2%	10%以上
PER ※1	26.38倍	32.69倍	26.39倍	-
PBR ※2	2.77倍	3.52倍	3.27倍	-
研究開発費	169億円	157億円	163億円	190億円
配当金	30円	34円	48円	50円
配当性向	27.8%	27.8%	29.9%	30.1%

※1. 各年度最終営業日のPERを記載 ※2. 各年度最終営業日のPBRを記載

主要な経営指標等②

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
総資産	4,372億円	4,376億円	4,975億円	5,605億円
純資産合計	2,879億円	3,028億円	3,355億円	3,812億円
自己資本比率	65.9%	69.2%	67.4%	68.0%
営業活動による キャッシュフロー	295億円	395億円	638億円	634億円
投資活動による キャッシュフロー	▲229億円	▲161億円	▲139億円	▲60億円
フリーキャッシュ フロー	66億円	234億円	499億円	573億円
財務活動による キャッシュフロー	▲108億円	▲262億円	▲130億円	▲157億円
設備投資	217億円	177億円	145億円	164億円
減価償却	115億円	133億円	155億円	162億円